

健康教育士養成講座

主催 : 特定非営利活動法人日本健康教育士養成機構 後援 : 一般社団法人日本健康教育学会、健康教育士の会

健康教育士とは、学校、職場、地域、医療、福祉などの場面で必要な、健康教育の知識や指導技術を習得し、健康教育の進歩・発展に寄与する新しい専門職です。

実践健康教育士は、実際に学校、職場、地域、医療、福祉などの現場で健康教育の実践にあたります。

健康づくり施策が打ち出されると、必ずや人材の育成と確保が課題として挙げられます。多くの場合、既存の健康関連職で対応している状況にありますが、肝心の健康づくり実践者である国民一人一人の個人の力を高める支援が低調です。その支援のキーパーソンとして、健康教育士の養成に努めてきています。今年度の講座では、現在及び将来の健康づくりの主要な健康課題を中心に健康教育士の役割を明確にし、その責務を果たす上で必要な健康教育・ヘルスプロモーションの探求力、行動変容理論・ソーシャルマーケティング理論を踏まえた**プランニング力、コミュニケーション力、リーダーシップ力、コーディネート力、ヘルスマネジメント力**を参加型演習を中心に身につけることを目指しています。

講座の様子



[お申し込みはこちら↑](#)

開講講座カリキュラムについては裏ページをご参照下さい。お申し込み方法は下記のとおりです。

下記の事務局宛に **Fax または E-mail** にて必要事項を記してお申込み下さい。

* 健康運動指導士、健康運動実践指導者更新単位についてはホームページをご確認下さい。

申込確認後、別途詳細のご案内をいたします。 **各回講座、随時お申し込み受付いたしております。**

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21 女子栄養大学 保健管理学的研究室 内

特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構 健康教育士養成講座 係

TEL : 049-283-2317 **Fax:049-284-2861 E-mail : npohe@eiyo. ac. jp**

講座参加（お申し込み用紙）下記の部分は全てご記入下さい。

1. 氏名: _____
2. 参加希望日【参加希望日○をつけて下さい】: 1回 9/9 (土)、2回 9/16 (土)、3回 10/15 (日)、4回 10/29 (日)
5回 11/22 (日)、6回 11/26(日)、7回 12/3 (日)、8回 12/10 (日)
3. 健康教育士【実践】資格 希望 する ・ 希望 しない
4. 所属(職種) _____
5. 連絡先(職場の場合は必ず会社名までご記載下さい)
住所〒: _____
携帯番号: _____

平成 29 年度 開講講座カリキュラム

開催時間 10:00~17:00 (尚、講義内容、講師については変更することもあります。)

	月/日	科目名【予定】	単位	予定講師名
1	9/9 (土)	<必修> 健康教育原論—誰のための、何のための健康教育か— ~国民一人一人の健康実践と自己実現のために~ (1) 1. 健康教育の理念・今日的意義・展望 —健康・健康教育・ヘルスプロモーションとは— —健康教育士の倫理・責務・役割— 2. 健康教育の目標・評価の本質・今日的意義・展望 —誰の、何のためのニーズアセスメント、目標、評価か—	2	1. 川田 智恵子 (指定健康教育者、岡山大学・愛知県立大学名誉教授) 2. 鎌田 尚子 (指定健康教育者、実践健康教育士 女子栄養大学名誉教授、 足利工業大学客員教授)
2	9/16 (土)	<選択>問題の発見と課題解決の技—みんなを納得させる統計数値の表し方・解析— 1. 健康情報処理力のスキルアップ —データのまとめ方・使い方 (PC 使用)— 2. 健康情報としての身体計測値の活用 (PC使用)	2	1. 宮城 重二 (指定健康教育者、女子栄養大学教授) 2. 小林 正子 (指定健康教育者、女子栄養大学教授)
3	10/15 (日)	<必修>健康教育原論—誰のための、何のための健康教育か— ~国民のヘルスリテラシーとこれからの健康教育専門家養成計画~ (2) 1. 健康教育士の国際動向 —米国のヘルスエデュケーターの動向を踏まえて— 2. 健康教育計画の進展・展望 —QOL 向上を目指した健康教育 プランニング力のスキルアップ—	2	1. 鈴木紀秀 (実践健康教育士、 有限責任監査法人トーマツ ヘルスケアコンサルティング) 2. 大津 一義 (指定健康教育者、 日本ウエルネススポーツ大学教授)
4	10/29 (日)	<選択>コミュニケーションカ—人々の心の叫びをキャッチする命のアンテナのブラッシュアップ— 1. 生きる力を高めるヘルスカウンセリングのスキルアップ 2. 「生と死」の教育の推進と健康教育士の役割	2	1. 中原 國子 (高崎医療センター付属 高崎看護学校) 2. 近藤 卓 (日本ウエルネススポーツ大学教授)
5	11/12 (日)	<選択>ソーシャルマーケティング力のブラッシュアップ —ヘルスプロモーションの推進方略、当事者のヘルスケアへの積極的参加を求めて— 1. 特定健診・保健指導からデータヘルス・健康経営まで~働き盛り世代の ニーズとデータに基づく生活習慣病対策~ 2. がん予防教育のプロモーションと健康教育士の役割	2	1. 福田 洋 (順天堂大学医学部 准教授) 2. 鈴木 紀秀 (実践健康教育士、 有限責任監査法人トーマツ ヘルスケアコンサルティング)
6	11/26 (日)	<選択>健康行動変容論に基づくやる気、実践力の強化 1. 行動変容をふまえた運動・栄養支援プログラムの開発 2. 生活習慣の改善・持続のためのやる気 (自己効力感) のスキルアップ	2	1. 萩裕美子 (指定健康教育者、 東海大学体育学部教授) 2. 安酸 史子 (防衛医科大学校教授)
7	12/3 (日)	<選択>ヘルスマネジメント力 (健康予防・管理サービス力) の ブラッシュアップ 1. 健康寿命延伸の取り組みと健康教育士の役割 2. メンタルヘルスの取り組みと健康教育士の役割 —ストレスチェックとの関連—	2	1. 星 且二 (指定健康教育者、 首都大学東京名誉教授) 2. 川口 毅 (指定健康教育者、 昭和大学医学部客員教授)
8	12/10 (日)	<選択>コラボレーション力 (パートナーシップ力) のブラッシュアップ 1. 運動・スポーツを通しての健康なまちづくりと健康教育士の役割 2. 認知症の人々を支える地域ケアシステムと健康教育士の役割	2	1. 山羽教文 (専門健康教育士、 株式会社 FILLD OF DREEMS 代表) 2. 清水 洋子 (実践健康教育士、 指定健康教育者、 東京女子医科大学看護学部教授)
試験	1/28 (日)	認定試験		認定委員メンバー

1. 場 所 : 女子栄養大学駒込キャンパス (東京都豊島区駒込 3-24-3)
 駒込キャンパス (JR山手線、地下鉄南北線 駒込駅より徒歩 3分)

2. 認定単位数 : 1回 (1日) 2単位 (10:00~13:00、14:00~17:00)
 全講座で 16 単位設定。資格認定試験の受験資格には 12 単位 (必修 6 単位を含む) の取得が必要。
 12 単位を取得し、認定試験に合格された方に実践健康教育士の資格を授与します。

3. 参加費用 : 1 単位 1 万円。単位を必要としない聴講費用は 1 日 5 千円。認定試験の検定料は 1 万円。